



日刊無シ日曜日
休刊一ヶ月廿五
報十五日廿五
廣告知料 一行四十
場所指定 二十餘
發行所 新報社
新報社 大町二二
新報社 新報社

自治制發布以來の 功勞者百二十名表彰

あす平市の記念式典

平市の自治制發布五十周年記念式は既報の如く明日一日舉行する午前九時青沼市長以下各課長、市會議員、振興委員、行政區長、各種團體代表が参列して縣社子會社代表が奉告祭を執行同十時第一小學校講堂で物故功勞者初代町長石川權介氏以下四十名の慰靈祭を行ひ十一時から井上茂作氏以下百二十名の自治功勞者を表彰する筈である表彰状及び感謝狀を贈られる人は左の通り

- 江尻幸平 關場知一 松井深 佐藤昌訓 木村忠卯 柴田道太郎
- ▲前委員：伏見彦衛 大河原金之助 松崎由雄
- ▲方面委員：大森勇
- ▲學校職員：平塚ムメ 先崎清 赤津千里 蛭田好一中村政 藤田榮助 市原卯太郎 清水廣政
- ▲前教員：古關新吾 加藤直典 渡邊善吉 黒木リヤウ 小野金太郎 鈴木寶雄 長谷川政 橋本きし 蛭田イサ 海老原英 飯島義雄
- ▲前事務委員：國府田鐵一 郎 吉野佐平太
- ▲消防組員：岡田政治郎

春蘭の豫想相場 四五圓乃至五〇圓

石双両郡の露況は上々吉 蘭出廻りは十六日頃から

平市片倉製糸特約石双両郡の露況は早場の石城郡小川方面は五輪三、四日大並は目下四眼中で一般に経過絶好である桑葉との關係は桑は若干の進みを見られてゐるが壯盛には寧ろ好調で且つ桑不足は絶對に認められず其の爲め現在のところ桑葉に相場が立たず上候は早きもの來六月五日頃大並は同日頃、蘭の出廻りは十圓の往來でなからうかと

常識講座

オール・オア・ナッシングは總てかからずんば無かと思ふ意、一か八かの決意を表はす言葉、單にオールなら總數とか全体のこと、また腕、腕手、漕手のことをもそう呼ぶ、

明日の共販米 千五百俵

石城郡販賣場一日の米定期共販は千俵を超える比較的大量の出荷するものと豫想され

- 二號七俵 好間小谷作三
- 〇俵 渡邊七八俵 草野一
- 〇三俵 平窪五俵 錦一五
- 九俵 大野一號二二三俵
- 同同二號二四俵 勿來一
- 七七俵 高久一六七俵 飯
- 野七二俵 夏井五〇俵 神
- 谷九六俵(以上)

労働者の不足から 女後山夫が復活

常磐各坑で三百廿八名

炭礦の女後山夫は母性の休位保護の目的で昭和八年九月から入坑を禁止されたため其當時まで常磐各炭礦に於て一千三百名を使用されてゐた同礦の禁止に該當労働者の不足を來たし殊に非常時局下に此の悩みが多くなつて仙台鐵山監督局へ使用復活の許可方を願出されてゐたが去る二十

狸泥棒捕はる

平署では三十日宮城縣柴田郡 犯佐藤彦作(三)を檢査取調べ

犯佐藤彦作(三)を檢査取調べてゐるこの男は昨年九月中江名町中の作漁業吉田清治方に雇はれ中、泉岡から主人宛に召集を受けて出征すると偽電報を打つて假別を詐欺した外今月中旬小名濱町宇定西雜貨商長瀬弘さんが飼育中の狸一番(價格四百圓)を窃取したところの狸がひどく兇暴なもので持ち餘して撲殺して捨てたことから足がつき檢査となつたもので自轉車

の戦死をなした貴家には父重(四)氏母(五)と(四)さんと姉妹五人あり農業を営んでゐる

慰問品有難く頂戴

平市立町出身 高橋達男

平出身の戦友と 會合して勵し合ふ

磐中出身

女子事務員、募集

回女子事務員一名(受付及會計係)
回看護婦五名(給十圓以上)
右大至急募集致します
茨城縣助川町新道
常陸 助川病院
電話 五一 番

文魁文堂

石城郡關係勇士
松崎久重一等兵、石城郡小名濱町字松の中出身、去る二十五日徐州攻略の戦ひで兩角部隊に屬し奮戦名譽

候、小生等の第〇分隊には平出身高野四郎君、大久保一君、大關佐吉君など有之時折會合しては勵まし合ひ或は郷里の語に花を咲かすなど互に往來致し居り候、且下は上海を去る百九十里

御誂の既製品、
高野屋洋服店
平三三六

豊間後任村長
豊間村では三十一日午後一時から村會を招集、後任村長證衝につき協議した

女子事務員、募集
回女子事務員一名(受付及會計係)
回看護婦五名(給十圓以上)
右大至急募集致します
茨城縣助川町新道
常陸 助川病院
電話 五一 番

文魁文堂
石城郡關係勇士
松崎久重一等兵、石城郡小名濱町字松の中出身、去る二十五日徐州攻略の戦ひで兩角部隊に屬し奮戦名譽

謹啓 覺導院葬送の際には御多忙中態々御會葬被成下候のみならず御町重なる御香奠を賜り御芳志の段有難く御禮申上候
拜趨御挨拶申上ぐべき處乍略儀以書中御厚禮申上候 敬具
昭和十三年五月卅一日
父 只野 忠 康
外親 戚 一同

産業方百

造り方(中)

農林省副産課
内海技師の述

自家用醬油の
大豆を煮る、この程度は色が褐色になり粘力が出て来たときで此のときは指と人指し指との間に大豆粒を指と外皮が剥離するこ
となく容易に潰れるものである、また大豆に一種の芳香があつて甘味があり臭味ないことが条件である、今度は製麹であるがこの操作は炒カウ荒割をやつた小麦に種麹を撒布混和して次に煮熱大豆を混和して空に入れ麹菌を發育せしめることであるが種麹は大豆一石に對して三四匁の量である、これを小麦にふりかけ煮た大豆は三、四十度に放冷してから混和する、その後盛り込み、室入れ、手入れ、止まり、出麹をやる、先づ盛り込みは十分混和したる麹原料を掻き桶(約二升入り)に一ぱいづゝをすくひ取り麹蓋(木製)に盛り込み表面を平にする、麹蓋の代りに藁ヤツク袋などを用ひられることがある、これを調所醬油室に入れる、室入れ後二十時間を経ると種麹中の麹菌が適當の水分、温度、酸素、空気を受けて發育しはじめる、
温度は品温、三十度内外である、これを手で靜かにほぐし混ぜ返した後箱の長縁に平行して一條か二條の溝を引くこれが一番手入れである、なほ手入れ中は入口の扉を開放

して室の温度を調整し換氣しな方がよろしい、一番手入れ七、八時間後には品温が三十七、八度になり原料が硬く結塊する。



お醤油は ヤマフル

醬油味増
たひら正宗
経節食料品

山崎合名會社
電話 本業部 二七〇番
分店 二七〇番

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

幸福の父
健康の母たらんには
召し給へ!
機那サフラン酒は
子實を得て見し。

定價 二圓二分
一匁以上

吉澤仁太郎藥房

平市五丁目角 山野邊藥局

産科 院長 木村寅次郎
婦人科 醫學博士 内木宗八
外科 藥劑師 大岩俊雄
藥局

平市新川町九一
入院隨意 木村病院
病室完備 電話一六四番

根本 婦産科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
(入院隨時)

和洋銅鐵、金物問屋
店商屋釜
九九・九電

夏の帽子 麥一文字こ子供帽
パラソル 二重張と晴雨兼用傘
ツルヤ 平電一四〇

目科療診
一、齒科 一般
保存科、補綴科、鑲齒架工科、齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿瘍科、一、口腔 外科
レントゲン科
中市野齒科醫院
院長 日本齒科 醫學士 西川 誠
日本齒科 醫學士 中野 憲次
電話五〇九番

外科 一般 内臓外科
レントゲン科 泌尿器科
晝夜 診療 北川 外科
〔血液検査毎日〕
イソデモ
入院デキマス
平市新川町二七(電話四六四)
醫學博士 北川 芳夫
技師 三浦 常保

モートル 變壓器 販賣、修理
社會資合 所工鉄藤佐
町見月市平
(番二六三話電)

大河内 整形科醫院
平市播植小路
電話五八八番